



不法投棄は犯罪です

市環境対策協議会（林昭夫会長）は11月26日、道路沿いに捨てられたごみを片付ける「環境美化作業」を行いました。市内の事業所や自治会役員、市議会議員ら会員約80人が参加し、阿木川ダム周辺から東野駅、総合庁舎を経て中津川市境に至る道路沿線から2トトラック2台分のごみを回収しました。作業終了後、参加者全員で阿木川ダム下に不法投棄防止を呼び掛ける看板を設置し、水源地の環境保全と不法投棄の撲滅を誓いました。

空き缶など多くのごみが捨てられていた阿木川ダム下



地域の獅子芝居を伝承

11月20日、上矢作公民館で第5回岐阜県獅子芝居公演が行われました。県内から6つの保存会が参加し、それぞれの地域に伝わる獅子芝居や獅子舞を披露。市内からは上矢作町横道獅子舞保存会が「悪魔払い」、岩村町獅子舞保存会が「葛の葉姫の子別れ」を、山岡町白山比咩神社獅子舞保存会が「妹背山一婦女庭訓一」を熱演。最後に横道保存会が「忠臣蔵七段目」で登場すると、約200人の観客からおひねりや大きな声援が飛び交いました。

岩村町獅子舞保存会による「葛の葉姫の子別れ」

下田歌子の教えに学ぶ

実践女子大学の創設者で女子教育の先駆者下田歌子先生（岩村町出身）の業績を顕彰する第3回下田歌子賞の表彰式が11月26日、岩村公民館で開催されました。

エッセイと標語の2部門で41人の入選者が発表され、表彰状と賞金などが授与されました。その後の記念フォーラムでは、作家の童門冬二先生、飯塚幸子実践女子大学学長、三浦忠信教育長に会場の皆さんも参加し、家庭教育について意見を交わしました。



市長からエッセイの部で表彰を受ける皆さん

河川が結ぶ交流

野井の川を美しくする会（会長土屋雅義、会員約100人）は11月20日、庄内川本線土岐川の最上流である三郷町野井地内の河川清掃を、最下流名古屋市の市民団体約20人とともに実施し、多くのごみを回収しました。

11月13日には名古屋市で実施された庄内川クリーン作戦に、野井の住民20人が参加。河川が結んだ交流活動を通じて、次世代へきれいな河川を残すには、流域住民一人一人の自覚が必要であると意識を新たにしました。



野井地内の河川清掃をする名古屋市市民団体メンバー



生き物引っ越し大作戦

11月26日、明智町大田地内の水路で県の排水路整備工事を前に貴重な生物を保護する田んぼの生き物引っ越し大作戦が開催され、地域の親子ら約30人が参加しました。

この水路では県絶滅危惧Ⅱ種に指定されるホトケドジョウの生息が確認されており、参加者は水路に住むドジョウなど約300匹を保護し、生き物の種類を確認後、上流の池に移動しました。水路は環境に配慮した片側が土盛の水路に整備される予定です。

保護した水路の生き物の説明を受ける子どもら



アコーディオンなど寄贈

11月23日明智かえてホールで日本大正村感謝祭が開催され、司葉子大正村村長をはじめ、可知恵那市長、中村幸昭大正村議長ら大正村関係者など約300人が参加しました。

式典では、昨年亡くなられた尾上隆治さんのご遺族からアコーディオンやオリンピックのコレクションが恵那市に寄贈され、可知恵那市長、司大正村村長が感謝状を送りました。式典の後には、感謝ショーが開催され、明知鉄道応援歌などが披露されました。

アコーディオンの寄贈を受ける可知市長Ⓔ



スポーツと音楽を一緒に

12月10日、市民会館で第3回障害者ふれあいレクリエーション大会が行われ、中学生ボランティアを含む約80人が参加しました。吉田宏子先生指導の下「ずんどこ体操」で準備運動をして体を暖めた後、大玉ころがしや輪投げ、パン食い競争を行いました。最後は音楽療法グループ「トライアングル」の皆さんと一緒に太鼓や鳴子で「村祭」を演奏したり、トーンチャイムや手話で「ふるさと」を楽しんだりと充実したひと時を過ごしました。

“ドンドン ヒャララー”と太鼓と鳴子で大合奏



5 商工会が合併に調印

市内の明智町、岩村町、山岡町、上矢作町及び串原で組織する各商工会の合併調印式が11月28日、明智町商工会館で開催され、来年4月に恵那市恵南商工会として新たなスタートを切ることになりました。

調印式には各商工会の役員のほか立会人の可知義明市長ら約30人が出席し、5商工会の会長が合併調印書に調印。新商工会の会員数は約900人で本所は明智町商工会館に置き、現在の各商工会を支所とする予定です。

合併に調印し、握手を交わす5商工会長

人生には選択縁が大切

12月10日、上矢作公民館で男女共同参画講演会「プラス思考で人生を楽しむ」が開催され、約40人が参加しました。

講師の日本向老学事務局長高橋ますみさんは、地縁、血縁に加え、人との出会い・積極的にかかわることの重要性を「選択縁」という言葉で表現。選択縁は情報を交換する大切な機会として、乳がん患者との縁からがんが早期に発見できたことなどわかりやすく説明され、参加者も熱心に聞き入っていました。

人との積極的なかわりが大切と語る高橋さん



地元歌舞伎に大喝采

第11回山岡歌舞伎公演が12月4日、山岡農村環境改善センターで行われました。小学校2年生3人のかわいい「子供舞踊」から始まった公演では、小学生による「由良港千軒長者一浜辺の場一」や「墓妖術瀧夜叉姫一筑波山岩屋の場一」、保存会メンバーと小学生の「義経千本桜一吉野山道行の場一」など5演目を披露。出演者31人が熱演すると、訪れた約500人の観客からおひねりや声援が送られ、地元上げての公演になりました。

安寿と厨子王姉弟を描いた「由良港千軒長者」



身近な「食」を学ぶ

12月9日、恵那東中学校で食生活改善推進員の皆さんによる食育の講義が行われ、2年生の生徒約70人が正しい食生活などについて学習をしました。

死亡の原因となる生活習慣病について、具体的なデータで説明を受け、人生を健康で過ごすため、毎日の食生活の大切さを学びました。生徒らは、スナック菓子に含まれる油や塩の量を実際に見たり、スケールを使い肥満度を計ったりと楽しく学びました。

身近なスナック菓子などでわかりやすく食育を講義



城下町を駆け抜ける

いわむら町まちづくり実行委員会は12月4日、歴史の町並みを駆け抜ける、いわむらレディスマラソン2005を開催しました。

一般・高校生10^{キロ}や、ファミリー2^{キロ}などの7部門に353人が出場。開会式では明智中学校などで英語助手を務める、アメリカ出身のケイティ・ジョーダンさんが、英語で選手宣誓を務めるなど国際色豊かに。選手たちは、初雪が舞い降りる城下町や日本一の農村の景観を楽しみながら力強く走りました。

元気よくスタートするファミリー2^{キロ}部門